

落緒に関する研究 繭糸にあらわれる異常形態と落緒との 関係について

誌名	蠶絲研究
ISSN	00364495
著者	小河原, 貞二 村山, 穰助
巻/号	20号
掲載ページ	p. 51-51
発行年月	1957年4月

5. 蚕研酵素による精練方法について

蚕研酵素による生糸の精練方法について各種の実験を試みた結果次の方法が好適であることが判明した。

第一工程	マルセール石鹼	1% (対生糸量)
	炭酸ソーダ	1% (//)
	浴 比	1:30
	90°C	15~20 分間
第二工程	蚕研酵素	5~6% (対生糸量)
	浴 比	1:30
	50°C	3~5 時間
第三工程	マルセール石鹼	1% (対生糸量)
	炭酸ソーダ	0.5~1% (//)
	浴 比	1:30
	90°C	10~15 分間

酵素練糸の性状をマルセール石鹼練糸と比較検討したところ、ラウジネスの発現が少く結節強力及び伸度が大きい等の点の優ることを認めた。

落緒に関する研究

繭糸にあらわれる異常形態と落緒との関係について

小河原貞二, 村山 穰助

繭糸にあらわれる異常形態部分と不時落緒との関係を明らかにするために、一粒繰によって落緒切端の形態を検討して来たので、その中、次の各項目についてその概要を述べた。

- 1) 一粒繰に於ける落緒分布, 2) 落緒部分の形態の分類, 3) 落緒の形態別出現率,
- 4) 形態別分布状態

なお、本報の詳細は別稿として改めて報告する予定である。

桑の凍霜害発生機構について

北 浦 澄

桑の凍霜害に関する試験研究は従来善後処理に関するものが多く、発生、予防に関しては非常に少い。桑葉の凍死に関しては安藤によって細胞の凍結による原形質構造の破壊に基ずくことが明かにされ¹⁾、最近では細胞間隙の凍結のみでも被害の発生することが判明